憲法九条の新たな危機に抗して

第二次安倍政権――政治の右傾化と集団的自衛権

日本政治の右傾化と憲法の危機

――危機打開・活憲に向けての大運動を

五十嵐 仁(法政大学大原社会問題研究所教授)



はじめに

- 1 政治的右傾化の現段階
 - (1)「ノダメ政権」から「アブ内閣」へ
 - (2) 安倍新政権による新たな攻勢――「惨事便乗型改憲論」の登場
 - (2) 右傾化の背景
- 2 増大する憲法の危機
 - (1) 内閣と国会における力関係の変化
 - (2) 突破口としての改正手続きの緩和
 - (3) 世論の動向
- 3 危機打開に向けての課題
 - (1) 改憲論の危険性、嘘とデタラメを暴露する
 - (2) 現行憲法の意義と可能性を明らかにする
 - (3) 今こそ「活憲」を一憲法理念・条文の具体化をめざす

むすび

ここが危ない! 集団的自衛権

松田竹男 (大阪市立大学特任教授)

はじめに

- 1 ここが危ない! 集団的自衛権
 - (1) 集団的自衛権を否定する政府の憲法解釈
 - (2) 集団的自衛権に踏み込む安保体制の実態
 - (3) 集団的自衛権の行使をめざす「日米同盟」
 - (4)集団的自衛権の危険性
- 2 国際的な平和活動への参加
 - (1) 集団安全保障と集団的自衛権のちがい
 - (2) 集団安全保障の復権と乱用
 - (3) 大国の勢力圏維持と制裁措置の重なり
 - (4) 国連PKOにおける武力行使
- 3 最近の諸問題
 - (1) 北朝鮮のミサイル発射・核実験
 - (2) 尖閣問題
 - (3)射撃レーダー照射事件
 - (4) アルジェリア人質事件

資料(自由民主党「日本国憲法改正草案」/「日本国憲法」抜粋対照表〉

の講演をもとに書き下ろされたものです た学習会(九条の会事務局・九条科学者の会共催 ンブッ は 车 月 $\overrightarrow{\mathbf{H}}$ に行

2013年4月18日発行 頒価400円

九条の会 〒 101 - 0065 千代田区西神田 2 - 5 - 7 神田中央ビル 3 0 3